

発行：新潟北高等学校

2307012

今年は昨年度の反省を踏まえ、園児の健康管理を最優先事項とし、その上で楽しめる企画の立案を生徒会執行部をお願いしたところ、前号で広報したような企画（劇仕立ての「みんなで踊ろうアンパンマン体操」）が加わり、より工夫した内容となった。



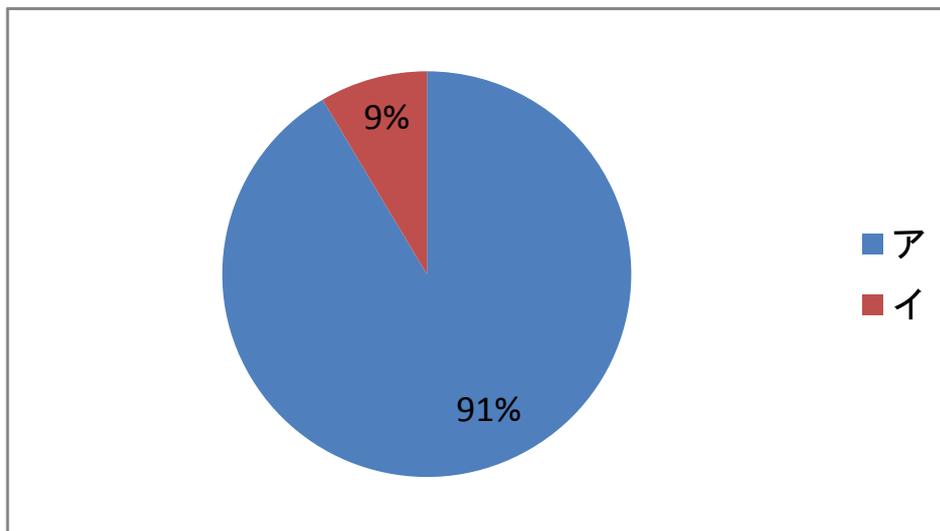
企画運営した生徒会執行部の皆さんをはじめ、こうした取組に対して理解を示してご協力いただいた県立幼稚園の先生方、保護者の皆様方、そして何よりも当日本校のグランドいっばいに笑顔(*^_^*)を振りまいてくれた園児の皆さんに感謝したい。

本校では今月をもって生徒会執行部が交代する。今から来年度に向けたオンリーワンスクール推進事業の企画をあたためてほしいと思う。何と云っても同事業は本校の看板をしょっている事業なんだから。（担当としてはもう少し全学校的な取組として成熟していくことを望んでほしいが……）

今号は、6月9日（水）に行われた体育祭での県立幼稚園児とのコラボについて、同幼稚園保護者の皆様方から回答いただきました結果についてお知らせします。（回収率78.3%）また、自由記述の部分では記述の主旨を斟酌し、担当の方でまとめさせていただきましたので、ご容赦願います。

体育祭アンケート結果より

- 1 今回の体育祭に新潟北高校に来校されましたか。
ア 来校した イ 来校しなかった又は来校できなかった

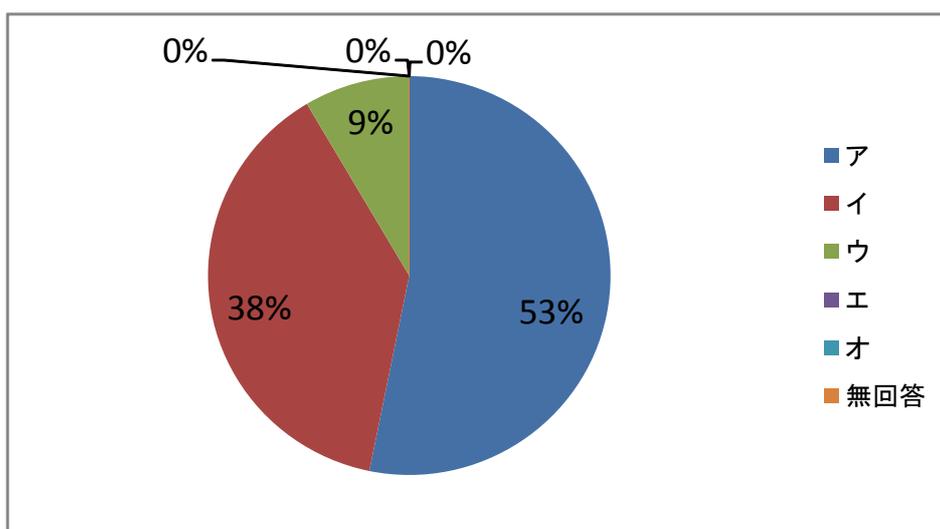


参加園児のほぼ9割にあたる保護者が当日来校いただいたことは、「開かれた学校づくり」を目指している本校にとっては大変有意義で願ってもないことであり、今後もこうした取組をあらゆる機会をとおして情報発信し、地域

に働きかけていくことができると考えている。しかし、大切なのは情報発信だけでは進化していかない。学校側が地域社会の一員としての自覚を持ち、主体性・独自性を発揮した取組を構築していく必要があるのではなかろうか。

2 今回の体育祭に幼稚園児を招待し、一緒にレースをしたことについて、どのよ
 と思いますか。

- ア 大変よかった イ まあまあよかった ウ ふつう
 エ あまりよくなかった オ よくなかった



前年度同様、およそ9割の保護者の方から大変よかった又はまあまあよかったとの回答がありました。

3 2でア又はイを選んだ人は、どのようなことがよかったですか。(自由記述)

※回答数の多い順に記載(複数回答あり)

意見	回答数
・高校生と交流できる機会がないので、交流できたことはよかった	14
・子どもが体育祭での体験を楽しそうに話してくれた	14
・高校生が自ら企画を立てて実行しており、工夫がみられたこと	9
・高校生が子どもに対して優しく接してくれたこと	8
・子ども達の実際の姿が楽しそうだった	7

4 2でエ又はオを選んだ人は、どのようにしていけばよりよい交流になったと考えますか。(自由記述)

回答がありませんでした。

5 来年度も体育祭に県立幼稚園児を招待し、交流を図りたいと考えていますが、どのような交流ができると考えますか。(自由記述)

※回答数の多い順に記載(複数回答あり)

意 見	回答数
・一緒に楽しめる内容で、特に変更しないでよい	26
・園児が参加できるよう継続してほしい	4
・一回でも園児と高校生と練習できたらいいのではないか	4
・玉入れや綱引き、二人三脚など、一緒に喜びを分かち合えるもの	4
・段取りよく、スムーズに進行してほしい	4
・待ち時間を少なくしてほしい	3
・分かり易いレース	1
・あまり意味がない	1

昨年度は大変厳しいご意見をいただきましたが、今年度は昨年度の反省を踏まえて園児用にテントを用意するなどの準備をしっかりと臨んだ当日でしたが、進行や競技内容の把握など次年度への課題が残りました。

しかし、寸劇風に仕立てあげたアンパンマン体操は、園児の保護者の皆様はもとより、園児たちにとっても少しは楽しんでもらえる内容になっていたのではないのでしょうか。今後も生徒たちの手によって工夫改善を加え、よりよい交流事業になっていけばと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

6 交流後の園児の様子はいかがでしたか。(自由記述)

※回答数の多い順に記載(複数回答あり)

意 見	回答数
・とても楽しかったと何度も家庭で話してくれた	34
・お面とお菓子をもらえたことがうれしかったようです	14
・また北高校に行きたい、レースや踊りを一緒にしたいと言っていた	3
・暑い中だったので、疲れていたようだった	1
・レース時のものでもなく、欲しかったキャラクターのものでもないお面でがっかりしていた	1
・普段どおりだった	1
・レースはあまり楽しくなかったようだ	1

設問7の自由感想については以下に抜粋して掲載します。

- ・園児から一言、二言高校生に感想を言う場面があった方がよいのでは？
- ・昨年度より高校生の格好が改善されていてよかった。
- ・園児たちにとって普段と異なった時間を過ごすことができ、とてもよい事業をしていただいていると感じた。
- ・もう少し、交流の回数を増やしてほしい。
- ・高校生が園児との交流をどのように感じているか知りたい。
- ・交流するには年齢が離れすぎており、意味がない。
- ・他の園にはない高校生との交流なので、北高校にとっても園にとっても意義のある活動になると思う。



などなど、県立幼稚園の保護者の皆様から多数の感想をお寄せいただきましたことに対し、厚く感謝申し上げますとともに、今後の事業展開の参考にしたいと考えております。

また、引率いただきました県立幼稚園の先生方からも貴重なご意見等を頂戴しており、今後の糧にしていきたいと考えております。



私どもの構想は、幼稚園や保育園から大学までそろそろといった一大文教地区である大形地区に立地しているという立地環境を背景として、異校種間の交流を推し進めるためのジョイントとなるべく今後も働きかけていきたいと考えております。これは、園や学校を中心とした枠組みから地域社会に対して何かを発信できるのではないかと壮大なことを標榜しており、これこそ「開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」「オンリーワンの学校づくり」にほかならないと考えておりますことから、多くの皆さんからご理解を得、ご支援いただければありがたく思います。

さて、そうこうしているうちに同事業研究開発指定校として3年が経過しようとしておりますが、息の長い事業として今後も皆様方から育てていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakKou/top_gakKou.htmlにも掲載しています。